

僕達の力は根を張るゆく

峠 三 吉

こんなところに櫻紙に包まれしれらはあつたのか、

磨かれた式台の上で、ぼくに蒼褪めの毒の着物よ。

ほた〜と雨のひびく空間にひきまぎられし追憶のもとで、

ぼくのポケットより、血にざんだ紙幣は息をひきとる。

約聴にまよついた寂しい火焰樹。

もうさき古銭模様 マザア COMPLEX 夕チにください

ぼくのしんごうの陰で雨に縮んだ、たゞ編の皮膚。

お、お前のかゝるだの、いつばん大切な歴史の花片を剥ぎとつて

いつの間にか金に換え 妻よ おまえは

なを黙々と瓦斯タンクのかけでやつれゆくのか。

晦日の夜のぬかすみは暗く 駈たみ、

跳ねあがった濕つた空に 共おの泥靴がさかしまに懸るこの夜更け、

あ、雨に重なるおまえの愛情は

あやしくもぼくの腕に捧げられ、今日だけは還つてくよが。

雨よ打て、星よ墮ちよ、 此のくら 割の底の沸りに

おなじく爪を剥ぎ指を折りこみ、

声もなくよよめりておの友よ その 妻子よ

この危小すのたが中でぼくらの愛は赫々と燃え、

燃えあがれ あいの 上で、ぼくたちの力は根を張るゆくのだ。

二文字アケル